

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩 心 会 発行

9年4月現在 逗葉大山船 地区地区計	会員数 151名 215名 41名 407名	9年4月(297号) 発行 藤 岳 加編 村 岳 中 集 者 愛
--------------------------	------------------------------------	---

行事予定

- 創立35周年記念・逗子市詩吟詩舞大会
日 時・4月27日(日)9・30・16・30分
会 場・逗子市立図書館ホール
- 碩心会60周年大会役員顔合せ
日 時・5月3日(祝)13時より
会 場・逗子市立図書館講堂
- 吟星会60周年大会(協賛出吟)
日 時・5月11日(日)
会 場・葉山文化会館大ホール
- 県本部高齢者年齢別吟道大会
日 時・5月17日(土)9時20分開会
会 場・平塚農業会館
- 碩心会60周年記念吟道大会
日 時・5月25日(日)
会 場・葉山文化会館大ホール

昇伝認許

おめでとうございます。

- (初伝5名・4月1日付)
416 井上哲男 (哲泉) 420 大西保正 (雄泉)
424 河田かほる (薫泉) 425 菊地君子 (君泉)
441 野邑里見 (里泉)

(中伝9名・4月1日付)

- 368 山本幸雄 (幸山) 370 渡辺叶子 (紅山)
- 371 山本進 (新山) 372 山本信雄 (野山)
- 374 河田好枝 (好山) 375 黒田慶子 (慶山)
- 376 林田静子 (静山) 377 佐野ミサコ (雅山)
- 378 植村純一 (粹山)
- (奥伝4名・4月1日付)
284 根岸京子 (京風) 289 蛭子トミヨ (俊風)
- 292 野末三雄 (雄風) 297 三木好枝 (好風)

碩心会60周年大会

表彰について

来る5月25日の右大会の式典に於て、役員、25年以上在会者、80才以上の高齢者に対し、表彰が行なわれます。当日、時間の関係等で、役員以外の方は登壇できませんので、氏名をよみあげ、各部門毎の代表者が表彰状を受けとることになります。表彰される方は左記の方々です。

(役員感謝状)

- 副会長 千葉岳閑 加藤岳洵
- 常任理事 中村岳郵 中村岳愛 鈴木岳抄
杉山岳雪 矢嶋岳悦 村田瀨岳

沼田岳義 鈴木萃岳 上村象岳

木村松岳 松井正岳

顧問 根岸岳萃

相談役 三井岳隴

参事 沼田岳雷 小峯岳海 井沢岳潮

竹石岳泓 森田岳鈴 秋元岳梁

(在会30年以上表彰3名)

岩崎岳恵 山口岳夕 守谷岳琅

(在会25年以上表彰25名)

松野岳宝 根岸岳静 黒崎岳百 清水岳耀

白井岳麗 大石春岳 佐藤湧岳 渡辺秀岳

石渡桂岳 笠原珠岳 矢沢峰岳 荒木笠岳

佐竹扇岳 綱川晃岳 渡辺星岳 石川豊岳

内山俊岳 長島玉岳 沼田静岳 沼田真岳

光岡洗岳 鈴木容岳 大貫洗岳 横山清岳

石井峯風

(高齢者表彰52名) 80才以上

三井岳隴 沼田岳雷 小峯岳海 井沢岳潮

森田岳鈴 鈴木岳抄 守谷岳琅 秋元岳梁

根岸岳静 黒崎岳百 大石春岳 石渡桂岳

佐竹扇岳 井沢鈴岳 鈴木清岳 安田聡岳

沼田静岳 西岡晴岳 寺脇宇岳 平山祥岳

角田松岳 重松由岳 田中宗岳 井上葉岳

黒沢華岳 大屋正岳 鈴木容岳 小西勝岳

鈴木千岳 宮本明岳 宮本香岳 荒谷煖岳

金子輝風 小峰弘風 角田浪風 荒井孝風

宮田花風 横山旆風 藤村千風 今村寿風

鈴木叡風 波田礼風 川瀬慧風 曾根清風

松下光風 野末雄山 永山洋山 吉田真山

山本野泉 星野寿泉 門間志泉 荒井勇泉

大会役員

大会当日の役員は左記の通りですので各自
確認の上、御協力下さい。

大会会長 加藤岳相

副会長 千葉岳閑 加藤岳洵

顧問 根岸岳萃 三井岳隴 沼田岳雷

小峰岳海 井沢岳潮 竹石岳泓

森田岳鈴 秋元岳梁

実行委員長 加藤岳洵

副委員長 松井正岳

(来賓受付・11名)

◎中村岳愛○鈴木岳抄 山口岳夕 白井岳麗

加藤朋岳 石月翹岳 菊地祐岳 加藤美岳

鈴木江岳 村井知風 根岸啓風

(一般受付・6名)

◎村田岳瀨○磯村朋岳 星野輝岳 矢島佳岳

水上昌岳 岡本瑞岳

(連 絡・7名)

◎木村松岳○清水岳耀 渡辺秀岳 佐藤湧岳

三岡洗岳 大屋正岳 南湖收風

(進行・11名)

◎鈴木萃岳○上村象岳 渡辺誠岳 佐久間爽岳

内山俊岳 立澤御岳 川瀬弘岳 小形雄岳

森 晴岳 加藤芳岳 川口喜岳

(会場・9名)

◎中村岳郵○田中明岳 福本辰岳 一柳良岳

黒崎幸岳 広瀬晴岳 加藤健岳 新井衛岳

植村成岳

(接待、弁当、懇親会・13名)

◎沼田岳義○笠原珠岳 綱川晃岳 鈴木喜岳

加藤溪岳 田中宗岳 三壁照岳 伊藤峰岳

西川幸風 小野祥風 嵐田光風 森合敬風

黒田慶山

(会 計・3名)

◎矢嶋岳悦○高井道岳 小菅幸岳

(記 録・3名)

◎杉山岳雪○宇都宮徳岳 草柳武風

(救 護・2名)

◎岩崎岳恵 土井松風

※以上役員の方は、一頁に記載の行事予定表
通り、全員御参加をお願いします。

碩心會支部別會員數一覽表
(平成9年4月現在)

(逗子地区)			(葉山地区)			(大船地区)											
1 2 3 4 5 6 7 8 9	逗子 A B 山間詠澄葉吟和 子子	5 6 8 5 5 9 5 6 1 1 1 1	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	堀一吟星唐下吟長上滝風諏東 木山 山の 伏	8 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 3 4 5	大船 A B 塚和 船 栄 大戸松	2 3 8 4 4 1 4 1									
9 支部			151名			13 支部			215名			5 支部			41名		
27支部						407名											

「まなびの道」

逗子B 新井国山

ある雑誌の論評に「わが国には学道と名のつく各種の文化があるが、今日、己を虚しくしてその師に突入する伝統の学道はどこかに没入して、己を満足させ、己を得ようとする風潮がある」と述べられているのを見て、時代とともに変化せざるを得ないものと、変えてはならないものを意味する「易不易」という古いことばを思い出し、わが精進のためにも一考に価するテーマと思ったのです。

「論語」にものを学ぶ秘法が述べられており「なにも考えず、ただただ教えられた通りにすべてをそのままに受けて、何の疑いも持たず実行することである」とあつて、教える受ける側の素直さを強調しています。

思想家の丸山俊雄も「只今これを教えられ導かれている師匠こそ、この世にただ一人の良師である。今日学ぶことができなかつたらば再び学ぶ時はないと深く思い、常にいましめてつとめ、いそしむべきである。

いやしくも人の師と選ばれた人は、一芸、一能において、また学識経験において、その

弟子を教導するにすぐれた境地と信念をもっていないものはない。

「師といつても人間である。だからアラを探せばいくらでも出てくるだろう。しかしこれを弟子の立場からみれば、何の障りにもならぬ、かえつて親しみを増し、敬慕を加える種子となる」と述べています。

もともと日本の職業教育は、長い年代にわたつて徒弟教育が行われ、親方は家人としての待遇で賤け、弟子はその身の一切をまかせて教育を受けたのですが、その義は血縁の親子を超えてそれ以上の命の契りの上に立つものであつたようです。その学びにおいて弟子は謙虚であり、無私であつたので、ここに本当の「まなび」が成就したといわれています。

この学びの原理は「出せば入る、捨てれば得る、かき寄せれば散つてしまう、つまり振り子の原理であつて、弟子がその師に絶対順従するが故にその師のもつありとあやゆるものが自らにして得られるのです。

中国、儒教の祖、孔子に顔回という弟子がおりました。残念なことに顔回は三十台の若さで世を去つたのですが、その時孔子は我を失うほどに深く悲しんだといっています。

三千人もいた弟子の中で、秀才と評判の顔回とはどんな人物だったのでしょうか。顔回はある時、儒教の眼目である「仁」について、師に尋ねました。孔子は「わがままを捨てて礼にかえることだ」といい、顔回がさらにもっと詳しく教えていただきたいと質すと、孔子は「礼にはずれたことは視るな、聞くな、言うな、行なうな」と。顔回は感激して「私は不才でございますが、生命をかけて実行いたします」と答えたといひます。

酒見健一著「陋巷に在り」より
これらの事例は、学ぶ者の姿勢と上達の速度が不可分であることを示しているとともに、茶や書に代表される学道の奥を識り、味わうための正道のように思うのです。

審査会で一番!

吟 秀 佐 野 雅 山

春一番、二番と、季節の移りゆくことを肌で感じられるこのごろです。春期審査会は加藤先生の「本日はよい天候に恵まれ、青空のごとく、日頃の練習の成果を大いに発揮されますように」との、審査にむけてのあいさつ

で開始されました。

幸か不幸か、一番という番号札で中伝の審査にのぞむことになりました。今日迄、高音の出し方、間のとり方、時間どおりに出来ますようにと、日々祈りながらの練習。そして願わくば、二句三息を少しでも可能にするための工夫等、課題は数多くあれど、審査当日は精一杯させていただけたいような思いです。日頃の先生方のご指導や、会員の皆様の吟をきかせていただけます事、心より感謝でございます。

朝、会場に出かける時、主人から「がんばれよ」の一言。審査終了後、合格のおみやげをひっさげて帰宅するやいなや主人に「今日は一番だったのよ!」と報告すると、「すごいな、一番だったのか!」「いいえ、一番が一番だったのよ!」。笑い話になったひと幕でした。

◎ 60周年リハールについて

いよいよ大会も間近になりましたが、当日に備えて、左記の通りリハールを行うことになりましたので御都合つけて御参加下さるようお願いいたします。

○一般合吟(9組)

日時・5月7日(水)午後6時30分より

会場・逗子図書館ホール

(到着順に順次行います)

○構成吟

日時・5月14日(水)午後6時30分より

5月21日(水) "

会場・逗子図書館ホール

(ナレーター、吟、舞、参加)

(住所、電話番号変更)

82 坂田ふくみ(新)横浜市磯子区杉田3-17-20

☎〇四五七七七一八〇五七

(入会)

470 中尾益男 葉山町長柄七〇五-二四

(長柄) ☎〇四六八-七五-八六九八

471 佐々木和子 横浜市戸塚区川上町三一八一

(幸和) 三七-二〇五

☎〇四五-八二-九〇九一

472 森みのる 横須賀市平作二-二五-一二

(唐山) ☎〇四六八-五二-二四〇

473 遠藤裕子 逗子市沼間二-二二-二六

(唐山) ☎〇四六八-七三-二三一三

(退会)

132 長谷川喜己雄(星山)(死)